

地域デザイン特論 A,B (前期(前半)金 6 限(A)又は web(B),スクーリングは合同) シラバス
 講義時間：1.5 時間 (演習含む)、ただしスクーリングは土曜日 13 時～17 時

1. 授業概要

地域資源の発見・発掘し、地域のビジョン創造につなげる地域デザイン手法について学ぶ。

2. 授業計画

(文科省 BP プログラム「実践的な方法による授業」凡例：企=企業等、双=双方向、実=実務家、地=実地)

第 1 回 4/13 地域デザインと地域診断法

講師：鵜飼 修 (滋賀県立大学地域共生センター准教授) (実)

- 1-1 「地域デザインと地域診断の意義」
- 1-2 「地域診断の手法」
- 1-3 「地域診断から地域デザインへの展開」

第 2 回 4/20 エコロジカルプランニングによる地域診断から地域デザインへ

講師：鵜飼 修 (滋賀県立大学地域共生センター准教授) (実)

- 2-1 : エコロジカルプランニングの概要
- 2-2 : エコロジカルプランニングの実践手法
- 2-3 : 地域デザインへの展開

第 3 回 4/27 地域診断法の実践手法

講師：鵜飼 修 (滋賀県立大学地域共生センター准教授) (実)

- 3-1 : 1×4 簡易マトリックス手法
- 3-2 : 調査形式
- 3-3 : ワークショップ形式

第 4 回 5/11 近江の生態的特性

講師：中井克樹 (琵琶湖博物館研究部生態系研究領域・専門学芸員 (環境保全復元学)) (実)

- 6-1 : 生態的特性把握の基礎知識
- 6-2 : 近江の生態的特性
- 6-3 : 生態的特性と地域デザイン

第 5 回 5/18 近江の産業的特性

講師：林幸司 (滋賀県立大学環境科学研究科 准教授 (環境経済学, 環境政策))

- 5-1 : 経済と環境
- 5-2 : 滋賀県経済の特徴
- 5-3 : 持続可能な社会に向けた方策

第 6 回 5/25 近江の歴史的的特性

講師：鵜飼修 (滋賀県立大学地域共生センター准教授) (実)

- 4-1 : 歴史的的特性把握の基礎知識
- 4-2 : 近江の歴史的的特性
- 4-3 : 歴史的的特性からみた近江における地域デザインのポイント

第 7 回, 8 回 5/26 スクーリング：地域診断法の実践手法 (ワークショップ含む)

講師：鵜飼 修 (滋賀県立大学地域共生センター准教授 (環境共生まちづくり)) (実、双)

- ・グループによるワークショップ制作物およびプレゼンテーションに対する評価とする。
- ・テーマ「地域診断の実践」

「地域デザイン特論」ルーブリック

No.	到達目標	評価手段	評価比率
①	地域診断法を用いた地域デザインの方法を説明することができる。	演習問題	10%×3
②	近江の歴史的、産業的、生態的特性を説明することができる。	演習問題	10%×3
③	地域診断法を用いた地域デザインを提案することができる。	グループ成果物	40%

No.	到達目標	F 60%未満	C 60%～ 70%未満	B 70%～ 80%未満	A 80%～ 90%未満	S 90%以上	評価基準
1	地域デザインにおける地域診断法の意義と効用、地域デザインへの展開について説明できる。	説明できていない。	必要最低限説明できる。	過不足無く説明できる。	わかりやすく説明できる。	魅力的に説明できる。	10%
2	エコロジカルプランニングの疑念と意義、実践手法、地域デザインへの展開方法を説明できる。	説明できていない。	必要最低限説明できる。	過不足無く説明できる。	わかりやすく説明できる。	魅力的に説明できる。	10%
3	地域診断法の種類とそれぞれの概要、特性について説明できる。	説明できていない。	必要最低限説明できる。	過不足無く説明できる。	わかりやすく説明できる。	魅力的に説明できる。	10%
4	歴史的特性の把握方法、近江の歴史的特性、歴史的特性からみた近江における地域デザインのポイントを説明できる。	提案できていない。	必要最低限提案できる。	過不足無く提案できる。	わかりやすく提案できる。	魅力的に提案できる。	10%
5	産業的特性の把握方法、近江の産業的特性、産業的特性からみた近江における地域デザインのポイントを説明できる。	説明できていない。	必要最低限説明できる。	過不足無く説明できる。	わかりやすく説明できる。	魅力的に説明できる。	10%
6	生態的特性の把握方法、近江の生態的特性、生態的特性からみた近江における地域デザインのポイントを説明できる。	説明できていない。	必要最低限説明できる。	過不足無く説明できる。	わかりやすく説明できる。	魅力的に説明できる。	10%
7.8	具体的な地域を対象として、地域診断をふまえた地域デザインを提案することができる。	提案できていない。	必要最低限提案できる。	過不足無く提案できる。	わかりやすく提案できる。	魅力的に提案できる。	40%

＜採点ルール・欠席の取り扱い＞

- ・内容、誤字脱字、体裁等を加味して加点減点を行う。提出遅れは厳禁。
- ・スクーリングの欠席は原則認めない。